

## 児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2018年12月13日

事業所名:こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できている	はい 25 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 1 十分な確保ができていると思う	整理整頓を心掛け、有効にスペースを活用していく
	2 職員の適切な配置	適切に配置できている	はい 20 どちらでもない 4 いいえ 0 わからない 3	引き続き、利用定員に応じた職員を配置していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動によって部屋を使い分け、個別課題実施時は視覚刺激の少ない環境で行っている。	はい 25 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 1	引き続き、特性に応じて適切な環境を設定していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	グループ前後に清掃を行い、環境が整っているか確認をしている。	はい 26 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0 時々、トイレの床が汚れているように感じる。	子どもがトイレを利用した後は職員が最終確認を行い、清潔に保てるようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	療育と記録に時間がかかり、業務改善の話合いの時間が十分に確保できていない。	/	療育が休みの日に会議を持ち、日々の業務と子どもへの支援内容の振り返りを行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者委員会を設置し、業務の改善を図っている。	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	各専門分野の研修会に参加したり、内部研修に取り組んでいる。	/	他事業所へ見学・実習へ行ったり、講師に来ていただく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	現時点では、各担当者が計画作成しているが、今後は、職員全体でアセスメント表を確認し、課題の分析・計画作成にあたる。	はい 26 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	ST・OT・保育士でケース会議を行い、様々な視点からのアセスメントを行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別が必要な児に対しては集団と個別の目標を組み合わせて計画している。	はい どちらでもない いいえ わからない	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	目標に対して具体的な支援内容を記載している。	はい 26 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	具体的な計画を立て、保護者に説明し実際の療育の活動に活かしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	活動を定める時に計画を確認し、参考に行っている。	はい 25 どちらでもない 2 いいえ 0 わからない 0	引き続き、個々にそった支援内容を確認して、プログラムに取り入れていくようにする。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各担当者間で相談し、立案している。		担当者間からグループ全体に伝達する時間を設け、共通理解をしていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	療育日以外の日には保護者向けの講座を実施している。放課後デイサービスでは長期休暇に合わせて時間設定を行っている。		引き続き、療育日以外の日には保護者向けに親講座を開き、家族支援に力を入れていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月案・活動予定表を作成し、子どもの状態や季節に応じた活動を実施している。	はい 22 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 3 無記入 1 ・様々な活動をしている	引き続き、子どもの状態や季節に応じた活動を実施していきながら、子ども達の活動の幅を広げていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	担当者間で内容や役割の確認を行っている。		引き続き、朝礼で確認をしていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個人記録を記入しながら活動の振り返りと児の課題を確認している。		担当者間で話し、必要に応じて終礼と朝礼で全体に周知する。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録を記入しながら活動の振り返りと児の課題を確認している。		子どもの姿や成長を的確に捉え、今より正確なアセスメントを徹底していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	他事業所を含め、月1回のモニタリングを行い、定期的な計画の見直しを行っている。		3か月に1回、6か月に1回、保護者の意向と子どもの発達を踏まえて見直し、より適切な支援を行っていく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が各担当者会議に出席している。		引き続き、担当職員が担当者会議に参加し、他事業所の共通理解を図っていく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	当施設から移行する際には個別支援最終報告書やサポートブックを作成し支援の継続を図っていく。		引き続き、連携会議・情報交換会等を行い、最終評価やサポートブックを作成していく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	様々な支援センターと連携をとっている。		引き続き、専門性を高める為、必要な研修に参加していく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	併設のはおとの森こども園と行事を一緒に行ったり、インクルーシブ保育を行っている。	はい 16 どちらでもない 6 いいえ 2 わからない 3 午後クラスになってからはこども園との交流はあまりないように感じる。	引き続き、併設しているはおとの森こども園との交流を行いながら、大きな集団の中で子ども同士の関わりを深めていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	敬老の日の行事やバザーなどを通して、地域の方との交流を行っている。	はい どちらでもない いいえ わからない	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・利用者負担等は年に1回(もしくは変更時)重要事項説明書で説明している。 ・療育終了後フィードバックにて支援の内容を説明している。	はい 26 どちらでもない 0 いいえ 1 わからない 0 少し変更があった時も説明がありました。	支援の内容・利用者負担等を保護者の方と共通理解できるよう丁寧に説明していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援期間終了時には計画の見直しを行い、必要な児の目標を設定しなおし、保護者に説明している。	はい 27 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	引き続き、支援計画を保護者と確認しながら説明していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	就学前の保護者に対し、子どもに必要な関わりを整理するねらいとして、面談や親講座の実践	はい 22 どちらでもない 4 いいえ 0 わからない 1 具体的にペアレントトレーニングというものが、どういったものか分からない	療育実施日以外の日を利用して保育士・言語聴覚士・作業療法士が保護者に向けて、親講座を行い、対応力の向上を図っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育終了後フィードバックにて、支援の内容や発達の状況、課題についてお話している。	はい 25 どちらでもない 0 いいえ 1 わからない 1	全員の保護者と共通理解が得られるようにより丁寧な説明を行っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	面談を設定し、保護者への助言を行っている。	はい 21 どちらでもない 2 いいえ 2 わからない 2 連絡ノート等で質問している。	保護者の方から悩みや相談があった時には、職員全員で話し合い、適切な助言を行い、保護者の不安が軽減できるように努めていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者支援も大きな目標の一つではあるが、保護者同士の連携を促す支援は取り組み始めたところである	はい 13 どちらでもない 4 いいえ 4 わからない 5 無記入 1	・療育の保護者の方以外とあまり接点がなく話す機会 今後、親講座等を通して保護者同士の交流が持てるようにしていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情発生当日に保護者と面談をとり対応している。	はい 20 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 7	苦情対応マニュアルに従い迅速に対応する。主訴を明確にし、問題解決にあたる。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	現段階では十分に時間を確保できていないため、フィードバックの時間や保護者から要望があった時には話し合う場を設けていく。	はい 24 どちらでもない 0 いいえ 1 わからない 2	今後、親講座やグループ終了後に保護者同士の交流が持てるようにしていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回施設の活動内容や予定表を配布している。	はい 23 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 3	・ホームページを見たことがなくわからない ・見ていないのでわからない 引き続き、月1回発行のお便りで子どもの様子や行事予定などを掲載していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時、個人情報取り扱いの説明を行い、同意をもらっている。	はい 27 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	引き続き、個人情報の取扱いについて厳重に取り扱っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・はおとの森こども園と一緒に感染症対策委員会を立ち上げている。 ・保護者の緊急連絡先を聞いている。	はい 22 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 5 ・週2しか来ていないからわからない	今後、保護者に配布するお便り等で緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルをお伝えしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月1回、防災や地震の避難訓練を行い、職員は消火器の取扱い訓練を行っている。	はい 13 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 11 無記入 1	避難訓練実施後はその月のお便りに記載し、保護者の方に周知していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施している。		リスクマネジメント会議を行ったり、職員間で情報を共有している。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束をしない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	当施設で給食を作っているため、指示書に基づき、給食と連携をとり、除去食を提供している。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった際は朝礼・終礼時に報告している。		子ども達が安全に過ごせているか週1回見直し、ヒヤリハットを通して職員で情報を共有し、配慮すべきことを確認する。